

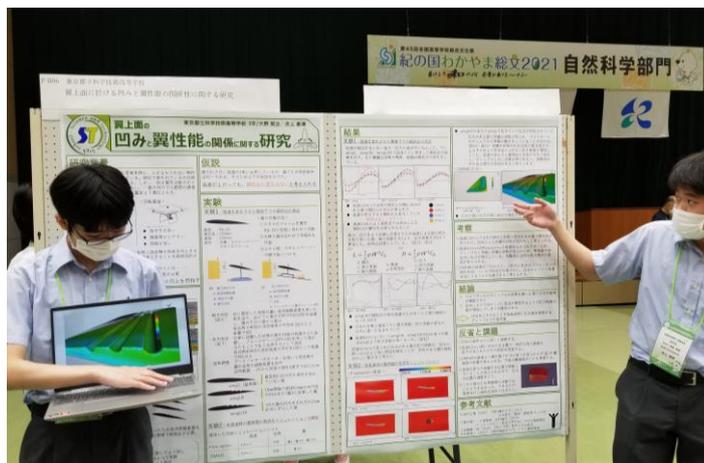
## 校長室より(6)

### 第45回全国高等学校総合文化祭「紀の国わかやま総文2021 自然科学部門」について

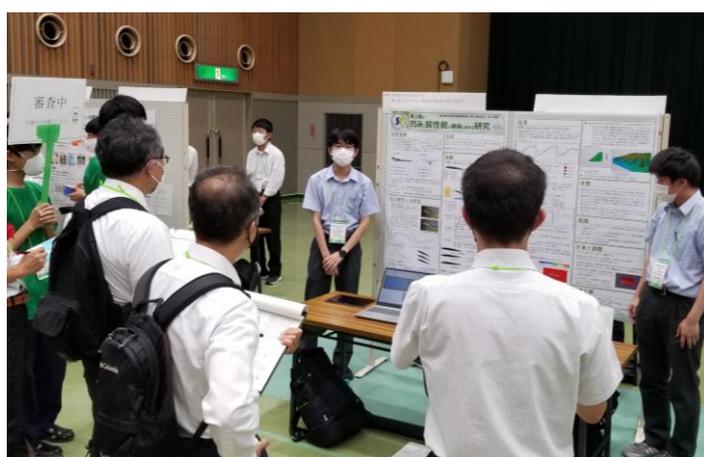
7月31日～8月2日までの3日間、全国高等学校総合文化祭・自然科学部門大会が近畿大学生物理工学部にて開催されました。昨年の高知大会は集合開催ができず、WEBのみ開催でした。今年の高知大会はコロナ禍ではありますが、感染予防の観点から、開会式・閉会式はYouTubeライブ配信に変更し、研究発表も参加都道府県を3グループに分けて実施の工夫が成され、可能な限りのプログラム実施となりました、和歌山県の熱意にとっても感謝いたします。写真は開会式の様子です。



本大会は各都道府県大会で選出された高校が、ポスター(パネル)発表および各部門(物理・化学・生物・地学)研究発表に分かれ、ポスター発表の最優秀校には文部科学大臣賞、優秀校2校には文化庁長官賞が授与されます。科学技術高校からは科学研究部(数学・物理班)の2名が東京都の代表としてポスター発表に挑みました。テーマは「翼上面に於ける凹みと翼性能の関係性に関する研究」です。写真にあるようにポスターを4分間で発表し、その後、4分間程度の審査員の先生方との質疑応答へ移り得点化されます。当然、発表前の論文も審査、得点化され順位付けされます。



私は、初めてこの全国大会に参加しましたが、生徒の皆さんの発表にかける熱い思いが伝わってきて、集合開催でき本当に良かったと感じました。皆が集い刺激し合う場が、何より高校生には大切と感じました。



今回の私の参加は、次年度開催される東京大会の視察を兼ねてのものです。来年、コロナの感染状況がどのようになっているか先行き不透明ですが、是非、今回のように実施形態を工夫して実施できたらと思います。科学技術高校は自然科学部門の文化部推進校です。東京都の代表として発表する生徒をもちろん出したいですが、この大会を支える運営側として参加する生徒も多く選出します。様々な立場で大会を担い、そこでの経験が将来の科学技術分野で活躍したいという志の種になれば最高です。

校長 久保 剛